



DUO 2024

Vol.
49

♪「デュオ」は英語で二重唱（奏）の意味です。

寄稿

～男女共同参画のさきがけ～

陸上競技を通し、男女差別の解消に果敢に挑戦した
オリンピックメダリスト人見絹枝の人生

NPO法人岡山立志教育支援プロジェクト理事長 角田みどり 氏

特集

育児休業を取得した男性の体験アンケート
職場で理解が深まっている男性の育休制度



～男女共同参画のさきがけ～

陸上競技を通し、男女差別の解消に果敢に挑戦した オリンピックメダリスト人見絹枝の人生

NPO 法人岡山立志教育支援プロジェクト理事長 ^{すみだ} 角田みどり



紙芝居「人見絹枝物語」より

人見絹枝は、1907年(明治40年)、当時の岡山県御津郡福浜村(現在の岡山市南区福成)に農家の二女として誕生した。小さい頃から大変なおてんばで、近所の男の子達と比べても抜きん出て活発だった。学業(成績)は優れ、運動能力も抜群に秀でていた。

岡山高等女学校で開けた女子陸上競技への道

当時は、「女性に教育は不要」という社会風潮があり、大抵の女兒は尋常小学校を卒業すると家事に就いていた。父親の猪作は教育には大変理解があり、彼女を岡山県岡山高等女学校(現在の岡山県立岡山操山高等学校)に進学させた。



紙芝居「人見絹枝物語」より

人見は、高等女学校では当時流行し始めたテニスに取り組み、全国優勝するなど好成績を残した。

「女性スポーツ」に理解のなかった時代

当時、女子がブルマーをはいて太ももを見せ、肌をさらすのはみっともないという風潮があり、女子スポーツに対して全く理解がなかった。しかし、身長が168cmと体格に恵まれ、並外れた運動能力を持つ人見は、それに屈することなく陸上競技に打ち込んでいった。

人見は、走り幅跳びで4.67mの日本記録(非公認)を出し、そののち三段跳びでは、10.33mの世界新記録も出し、「陸の女王」としての道を歩み始めることとなった。

二階堂体操塾への進学、そして新聞記者に

岡山高女を卒業した後は、人見の願いを両親は受け入れ、二階堂トクヨが開校した「二階堂体操塾」(現在の日本女子体育大学)に進学し、体育教師を目指した。卒業後に体育教師を短期間務めた後、大阪毎日新聞の記者となり、多くの優れたスポーツ記事を書いている。

新聞記者と陸上競技の選手の二足のわらじを履きなが

角田みどり氏

岡山市立第二藤田小学校、同福浜小学校の校長を務めた。その間、岡山市教育委員会事務局参事、学校教育部次長、教育企画総務課長として教育改革を推進し、「小中学校男女平等教育の手引き」の編集を担当。その後、中国短期大学教授を歴任。現在、岡山県人権政策審議会委員、NPO法人岡山立志教育支援プロジェクト理事長を務めながら、県下各地で、「ジェンダー平等の実現」に関する講演を50回以上実施。令和5年度岡山県男女共同参画社会づくり表彰(県民生活部長表彰)を受賞。



ら、昼間は記事を書き、夜になると、三段跳び、走り幅跳び、短距離走などの練習に励む日々を過ごした。

当時のオリンピック競技では、女性の参加できる種目は限られていた。人見は、1926年スウェーデン・イエーテポリで開催された第2回国際女子競技大会(オリンピックとは別開催)に、世界8か国83人の女性選手のうち、日本からただ一人参加した。走り幅跳び、円盤投げなど、4種目で入賞し、個人総合優勝を果たした。その功績に対して、大会実行委員長のミア夫人(当時の国際女子スポーツ連盟会長)から、「名誉賞」が贈られた。

第9回アムステルダム・オリンピック 800m走で銀メダル

1928年8月、陸上競技への女性の参加が初めて認められた第9回アムステルダム・オリンピックに、日本の出場選手総勢43人のうち、人見が日本の初の女性選手として唯一選ばれ、入場行進に加わった。

100m走の短距離では、当時の世界記録を持っていたが、金メダルの期待が大きいのしかかり、まさかの準決勝敗退。「このままでは、日本に帰れない。棄権を予定していた800m走に出場してメダルに再挑戦させてください。」と監督に「800m走出場」を懇願した。何としてでもメダルを獲得したいという人見の使命感、強い決意が感じられる。

監督は、800m走未経験の人見に「死んでしまうぞ。」と反対したが、その熱い思いに押されて、ついには許可したのだった。

9人の強豪選手と決勝戦に出場した人見は、スタートして1周目で6位に着き、その後順位を上げ、ついには、トップを走るラトケ選手(独)に2m差まで迫り着く。しかし



紙芝居「人見絹枝物語」より

ゴール直前で意識が遠のき、気が付くと、日本の国旗が掲揚台の2番目に上がっており、銀メダルに歓喜の涙を流した。実は、このレースで、出場した女子選手9人全員が失神、のちに「死の激走」とも呼ばれた。以来、32年間800m走は女子の競技では中止となった。

燃えるような高い志

日本人女性で初のオリンピックメダリストとなった人見自身の「夢」は達成した。しかし、人見はそこで止まっていなかった。日本の女子スポーツ発展のため、全国から有望な少女を集めてチームを結成し、1930年には、チェコ(当時はチェコスロバキア)のプラハで開催された第3回国際女子競技大会にチームで出場。この大会では、人見は走り幅跳びで金メダル。チームを400mリレーで第4位に導いた。

このほか、講演活動を年間100回以上、自叙伝刊行、映画制作など日本女性のスポーツ振興のための資金集めに奔走した。人見の志は高く、尊く、後に続く体育女子育成のために心血を注いだのだった。その後、肺結核を患い、1931年、わずか24歳7か月という若さでこの世を去った。なんと3年前に銀メダルを獲得した日と同じ、8月2日。偉大な女子アスリートの死を世界中が悲しんだ。その61年後の1992年の第25回バルセロナ・オリンピックで、同じ岡山出身の有森裕子さんが、同じ「銀メダル」に輝いている。しかも、人見がメダルを獲得したのと同じ8月2日に。

人見絹枝の残した「名言」と功績をたたえる「銅像」

- 「向上、進歩するには苦しみがある。然しその苦しみもいつかは果(み)になって表れる時があると思う。」
- 「『努める者は何時か恵まれる。』私は賢明ではない事をよく知っています。然し愚かなりとも、努力を続ける者が最後の勝者なることを信ずる者です。」

(人見絹枝著「スパイクの跡」より抜粋)
注) 名言については、現代用語にて表記しています。



人見の功績をたたえる銅像は、岡山市内の岡山県総合グラウンド、岡山県立岡山操山高等学校敷地、岡山市立福浜小学校校庭(写真)に設置されている。いずれも、ゴールする瞬間や、スタートの姿勢、力強く走る姿などが、美しく表現されている。

人見絹枝の陸上競技の主な記録

「陸の女王」と呼ばれ、多くの種目で当時の世界記録、日本記録を残している。

- 50m走(6秒4)、100m走(12秒2★)、200m(24秒7★)、400m(59秒0)、円盤投げ(34.18m)、走高跳び(1.45m)、走幅跳び(5.98m★)、立幅跳び(2.61m)、三段跳び(11.62m)、三種競技(217点)
- ★印は、世界公認記録。

短くも志高く燃え尽きた生涯

日本人女性初のオリンピックメダリスト人見絹枝の短くも志高く生き抜いた人生で、男女が平等にスポーツを楽しむ、競技するという男女共同参画の先陣を切った功績は大きい。郷土の女子スポーツ振興に多大な貢献をただけでなく、日本、そして世界の女子スポーツの振興に大きく寄与したといえる。

その「志」は後輩にも引き継がれ、岡山から輩出する女子アスリートの活躍は目覚ましい。知性、理性、感性、身体性をバランスよく身につけた希な人物として、まさに「郷土の誇り」である人見絹枝は、今後も燦然(さんぜん)と輝き続けるだろう。

大型紙芝居「人見絹枝物語」

筆者が人見絹枝の母校である岡山市立福浜小学校に校長として着任した2年目に、ちょうど、人見絹枝生誕100周年の記念の年を迎え、地元の連合町内会と学校が協働して「人見絹枝紙芝居制作実行委員会」を立ち上げた。子ども達が人見絹枝の生き方を顕彰し、深く心に刻むのには一番効果のある「紙芝居」の制作に当たった。

結果、筆者自身が紙芝居の原文を書き、挿絵を描く責任を担い、実行委員とともに13枚の大型紙芝居として完成させた。(紙芝居は、「さんかく岡山」にて閲覧可能。)



紙芝居「人見絹枝物語」

参考文献

- * 「スパイクの跡」人見絹枝(1927年)平凡社
- * 「燃え尽きたランナー 人見絹枝の生涯」小原敏彦(1981年)大和書房
- * 「炎のスパリッター」人見絹枝自伝(1983年)山陽新聞社出版局
- * 「朝やけのランナー」真鍋和子(1984年)PHP研究所
- * 「絹枝恋い：僕の人見絹枝伝」戸田純(1990年)
- * 「二階堂学園七十年」日本女子体育大学(1992年)
- * 「20世紀スポーツ列伝」読売新聞社運動部(2000年)中央公論新社
- * 「ライジングガール!〜人見絹枝物語〜コミック版」比古地朔弥(2005年)祥伝社
- * 「紙芝居 人見絹枝物語 ～短くも燃えて走り抜いた生涯～」人見絹枝紙芝居制作実行委員会/岡山市(2007年)
- * 「KINUEは走る」小原敏彦(2007年)健康ジャーナル社
- * 「人見絹枝・生誕100年記念誌」永島博正編(2008年)日本女子体育大学
- * 「時代に咲いた花」清水和子(2008年)ノートルモンド社

育児休業を取得した男性の体験アンケート 職場で理解が深まっている男性の育休制度 ～この制度をもっと利用しませんか～

「育児・介護休業法」が施行されて30年余り。法令改正等によって育児休業を取得する男性はジワジワ増えている。しかし取得率は約17%（令和4年度）にすぎない。そこで企業・公的機関に勤務し、育児休業を取得した男性6人（30～40歳代）にアンケート形式によってその実情を尋ねた。※取得率（＝男性の育児休業の取得率）は、厚生労働省の「令和4年度雇用均等基本調査」によるもの。

育児休業をどのくらいの日数と回数をそれぞれどういうタイミングで取得されましたか。

- Aさん**：妻が出産・退院後、14日間の育児休業を取得しました。
- Bさん**：妻は、出産後1週間は入院の予定だったので、産後1週間後から40日程取得しました。賞与の時期でもあり、社会保険料が免除されるよう賞与を頂くまで取得しています。
- Cさん**：子どもが産まれて妻が退院してから、2か月間育児休業を取得しました。出産の話を会社にした際に、育児休業の説明をしてくれたので制度について詳しく知ることが出来ました。家に帰り、妻と相談して育児休業取得に至りました。
- Dさん**：子どもの生後1か月のタイミングで、19日間の育児休業を1回取得しました。初めての出産・育児のため、生後1か月は、妻の実家で両親の手助けを受けていました。その後、自宅に戻って育児をすることに對して不安を感じていたのですが、職場の上司に取得を勧められ、業務量や繁忙期等も考慮した上で取得することにしました。
- Eさん**：子どもが産まれたタイミングで1か月取得しました。
- Fさん**：1回目は子どもが生後1か月の頃に5日間、2回目は子どもが生後7か月のころに33日間取得しました。いずれも仕事の最繁忙期は避け、特に2回目は1番の閑散期（結果的にはそうなりませんでしたが）を見計らってある程度まとまった期間を取得しました。また、それとは別に出産する妻をサポートするための休暇なども利用しました。

育児休業取得期間中に家庭生活や育児についてどのようなことをしましたか。

- Aさん**：炊事・洗濯などの家事全般を行いました。また、育児については寝かせつけ以外のほとんどの世話と姉の保育園への送迎などを行いました。
- Bさん**：家事においては、食事作り、食器洗い、洗濯、掃除、買い物、ゴミ出し、ペットの掃除・エサやり、育児においては、着替え、哺乳、おむつ替え、入浴、寝かせ、遊び、通院、買い物、煮沸処理など、だいたい全てのことをやってみました。
- Cさん**：産後約1か月程度は妻の体力が低下しており、思うように動くことが出来ていませんでした。そのため食事作り、洗濯、掃除等を中心に家事全般を行いました。育児については、着替え、ミルクを飲ませる、おむつ替え、入浴等、子どもの成長とともに、自分が出来ることを増やしていきました。
- Dさん**：家事関連は、食事作り、食器洗い、洗濯、掃除、買い

- 物、ゴミ出しを行い、育児関連では着替え、おむつ替え、入浴、寝かせを行いました。
- Eさん**：長女の保育園の送り迎えと家事全般をしました。日中はなるべく妻が休息できるようにミルクの時間以外は赤ちゃんのお世話をしていました。
- Fさん**：家庭生活については、主に食器洗い、洗濯、掃除、ゴミ出しなどを行っていました。また、買い物は妻と一緒に行って行っていました。育児関連については、特定のこのみやるのではなく、着替え、おむつ替え、入浴、寝かせ、遊びなど、状況に応じて妻と分担して行いました。

あなたのパートナー（妻）の反応について教えてください。妻は夫の育児休業をどのように感じていますか、また何を望まれましたか。

- Aさん**：「家事・育児の負担が軽減されとても助かったよ。」と言ってくれました。また、「父親が新生児期の赤ちゃんにゆっくりと触れ合える時間が持てて良かった。」と喜んでくれました。
- Bさん**：特に出産直後は動くことも辛く、一人だったらかなり困っていたと思うので助かったと感謝されました。もっと取得して欲しいとも言われました。メール確認やデスクワークなど、いくらか仕事もしていたので、休み中に仕事するなと妻に怒られました。
- Cさん**：はじめは、私の育児休業取得に驚いていましたが、すぐに理解を示してくれました。私は自分の子どもなので妻へ任せきりにしたくないという思いがありました。妻と子どもと3人で過ごした育休期間はかけがえのない思い出となっています。
- Dさん**：妻は、育児に慣れていないこともあり、睡眠時間もあまり取れず、心身共に疲れが出ていたため「短期間でも育児休業を取ってくれば、家事等の負担が減るので、助かる。」と言ってくれました。夫婦共に睡眠不足の中、日中は、子どもは抱っこでしか寝ることができなかったため、妻と交代でそれぞれ昼寝をするなど体を休めることができました。
- Eさん**：産後1か月は極力外出を控えるよう言われていたので子どもの送り迎えや買い出しを頼まれていました。とても助かったと言ってもらってます。
- Fさん**：私の仕事の都合で妻に育児・家事をほとんどお願いせざるを得ない時期もあり、心身ともに疲れていたようです。そのため私の育児休業取得を心待ちにしていました。特に、夜中の授乳でまとまって眠れない時期が続いていたので、早朝に子

以下の企業・団体の社員・職員に聞きました。

- Aさん** 大和クレス（株）／プラントオペレータ
- Bさん** （株）林原／研究開発技術者
- Cさん** 両備ホールディングス（株）／バス運転職
- Dさん** 岡山県警／警察官
- Eさん** 岡山大学病院／診療放射線技師
- Fさん** 岡山市／行政事務職

「育児・介護休業法」 2022年以降の改正ポイント！

- 2022年10月1日施行
 - ・出生時育児休業（通称「産後パパ育休」の創設）
 - ・育児休業の分割取得
- 2023年4月1日施行
 - ・育児休業取得状況の公表の義務化

どもと二人で公園に行くなどして妻がゆっくり眠れる時間を確保したことが、心身ともにありがたかったと言われました。また、子どもの些細な成長や育児の大変さを共有でき、子どもが以前よりも私に懐いてくれたことから、家族の絆がより深まったと感じてくれたようです。

あなたの職場の上司や同僚の反応について教えてください。うれしかった職場の対応、元気が出た上司や同僚からのメッセージ（言葉がけ）など。

- Aさん**：上司や同僚が快く了承してくれましたので安心して、育児休業を取ることができました。
- Bさん**：否定的な意見はなく、しっかり休んで妻を支えてくださいと言って頂き、取得しやすかったです。
- Cさん**：育児経験者の先輩社員から、アドバイスや失敗談を教えてもらったことがうれしかったです。初めての育児で不安なことやわからないことが多い中、そういった話は育児の励みとなりました。また職場復帰をしたときに優しくお声掛けいただいたり、子どもの様子を聞いてくれたこともうれしかったです。
- Dさん**：職場の上司、同僚が「家庭が一番大事。妻を支えながら、子どもとの時間も楽しんで。仕事はまかせて。」等と言ってくれましたので、安心して育児休業を取ることができました。また、仕事に復帰した際も「おかえり。大変な時は、またいつでも言って。」等と快く迎えてくれました。
- Eさん**：職場には迷惑をかけるのでお願いする時は申し訳ない気持ちが強かったのですが「育児頑張って！」と快く送り出してもらえたので安心して休みを取ることができて良かったです。
- Fさん**：最初に相談してから実際に育児休業を取得するまで終始好意的に応援してくれ、とてもありがたかったです。上司は実際に声に出して取得勧奨し、取得しやすい雰囲気づくりをしてくれました。同僚も育児休業前に急遽大きな仕事が発生したにも関わらず、快く送り出してくれました。職場に帰任した際も温かく迎えてくれ、スムーズに気持ちよく職場復帰することができました。

育児休業を取得した結果、どのような感想をお持ちですか。男性育休についてあなたの考える課題・改善点についてあれば合わせて教えてください。

- Aさん**：育児をしながら家事をするお母さん（妻）の大変さを実感しました。
- Bさん**：私の所属している部署では、私が男性で初めて育休を取得したので、まだまだ浸透していないと感じています。出産後の重要な時期にお休みを頂けるのは非常にありがたいことですし、せっかくある制度をもっと活用すべきだと思います。私の場合は仕事をもち帰ってしまいましたが、お休みとしても中途半端になってしまいましたので、完全に仕事からは離れお休みに専念した方が良いと感じました。
- Cさん**：率直に育児休業を取得してよかったという思いが強いです。正直、育休を取得する前に「男で育休」や「同僚に迷惑をかける」や「育休中の生活費」など多くの不安や迷いがありました。しかし、育児休業を取ることで、今しかない赤ちゃんの成長を近くで見守ることができ、かけがえのない思い出となりました。悩んでいる男性の方はぜひ育休取得するべきだと思います。
- Dさん**：子どもと妻との時間が取れたこと、育児のやり方や育児・家事の大変さが分かったことが良かったと感じています。職場でも、男性職員の育児休業が取りやすい環境になっていて、いいことだと思っています。
- Eさん**：妻の疲れや苦勞をより感じることでできたので休みを取って良かったと思いました。私の職場は何人か過去に育児休業を取っている人がいたので自分もお願いしやすかったです。男性の育休は広まっていますがまだ取得するのにためらいのある人も多いと思います。職場内で休みが出た時の応援体制を見直し、休みが出て支障のない環境整備が必要だと思います。男性育休どんどん活用してもらいたいです！
- Fさん**：想像以上の育児の大変さを分かち合うとともにたくさんの思い出をつくることができ、家族の絆がより深まるかけがえのない時間を過ごすことができました。その一方で、一貫して



職場の方に負担をかけて申し訳ないという気持ちがありました。育児休業の取得期間が短い場合でも代替職員が入るなど、職場の負担軽減につながる仕組みがより充実すれば、男性の育児休業取得者がさらに増えるのではないかと思います。

告知

さんかくウイーク 2024 岡山市男女共同参画推進週間

テーマ▶「未来を信じ 幸せ感じて みんなが笑顔へ」

記念イベント▶2024年6月23日(日)

※さんかくウイーク期間中は、上記日程以外にさんかく岡山、公民館、図書館など市内各所で様々なイベントを開催いたします。

令和6年6月21日から27日を「さんかくウイーク(男女共同参画推進週間)」と定め、前後1週間を含めた約3週間の期間中、男女共同参画への理解を深めていただくためのイベントを開催します。詳しくは5月上旬に、女性が輝くまちづくり推進課ホームページやさんかく岡山、区役所、公民館などで配布するチラシをご覧ください。

過去のさんかくウイークで開催したイベント▶



令和5年度
表彰事業者の
ご紹介

男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

岡山市は雇用の分野における男女共同参画の形成の促進を図るために、積極的に取り組んでいる事業者を表彰しています。



▲過去に
表彰された企業

株式会社フジワラテクノアート

小学校卒業までの子を養育する社員の有給の看護休暇制度の導入等、法を上回る基準の制度を有し、その制度が活用されています。また、障害者雇用に向けた仕組みの構築や、管理職コースへの女性の積極的な育成など、性別等にかかわらず誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

特に役員に占める女性割合が50%であることを高く評価いたしました。



ピコシステム株式会社

「中抜け」ありの子の看護休暇・介護休暇や時間単位の年次有給休暇の導入等、法を上回る基準の制度を有し、その制度が活用されています。また、「短時間正職員制度」の導入などワーク・ライフ・バランスを大切に柔軟な働き方ができる職場環境づくりに取り組んでいます。

このようなことから、社員の仕事と育児・介護の両立支援に積極的に取り組んでいることを高く評価いたしました。



編集委員の ちょっと一言

多くの出会いに感謝

2年間の活動を通して真摯に男女の性別に関わらず一人一人が住みやすい岡山の町を作ろうと活動されていらっしゃる多くの方々と出会えた事に感謝いたします。子どもは、家庭だけでなく社会で育てるという基盤づくりをもっと充実させる必要を切実に感じ、これからも自分なりに活動をしていきたいと思いました。(磯部 琴美)

男女共同参画のDUOに関わった2年間

岡山市に住み、子育てをしつつ、色々と見聞きする中で、男性の育児休業について興味が高まりました。夫の育児休業に妻が求めている事は何か、夫は本当に取得出来ているのか、取る気があるのか、等々。そんな現状を今回の制作を通し知る事ができ、他の委員の皆さんともお話しできて良かったです。また、DUO制作に携わり「さんかく岡山」をたくさんの方に利用してもらいたいと感じました。(楠見 範子)

当事者の声を大切に

男性の育休中の声を取り上げたのは、編集委員に産休中の人がいいた事が要因でした。ジェンダーバイアスに大きく絡む不平等、格差、生き辛さ、人権問題…。その様な社会を変えようとしてきたのは、当事者の声から始まっています。その声に耳を傾け、自分の中の固定観念に向き合いながら、情報を広く共有し、誰もが生きやすい社会にしていこう事が私達に求められています。(佐々木 典子)

参画社会への課題

男女共同参画社会基本法の施行から25年。参画社会の形成はどこまで進んでいるのだろうか。管理職への女性の登用などは徐々に進められている。しかし、昨年のジェンダーギャップ指数は、146か国中125位。特に政治分野によって大きく順位を下げている。女性の政治家への道をいかに、どう切り開いていくか。参画社会の形成にとって喫緊の課題である。(藤田 学)

これからの男女共同参画社会について

現在の「男女共同参画社会」を見たときに、少しではありますが、全体的には前進していると感じます。課題は残るものの「LGBT理解増進法」が公布・施行され、同法が国民的な議論の中心になったことは評価できます。私は大学生のみなさんに対して社会福祉の教鞭を取っていますが、今の学生の意識はジェンダーフリーに転換しつつあると感じます。未来は明るい展望が期待できると信じています。(松井 圭三)

国連のXへの書き込み

国連広報センターの“家父長制を解体しよう”という書き込みが話題を呼んだ事があった。今の日本には家父長制など無いと言う批判が集まったそうだ。家族制度としては薄れても社会の中にその意識は根強いのではと思う。根強く残るその意識に多くの方が気付くことを願う。(吉田 彩子)

「さんかく岡山」の事業 令和5年度

老いも若きも幼きも みんなでさんかく

さんかく岡山では、さまざまな世代性別の方々を対象に男女の自立や男女共同参画を促進するための講座やイベントを開催しています。今年度のさんかく岡山主催事業の中からいくつか紹介します。

●子どもさんかくゼミ

夏休み、市内2か所の学童クラブ・児童クラブで、自分や周りの人の大切な命を守るお話や植物の種の飛び方から自然の不思議を学ぶ「子どもさんかくゼミ・出前講座」を行いました。「嫌なことは嫌だと言ってよい。」「自分の気持ちや考えがあるように、相手にも考えや気持ちがある。」「いろんな考えを尊重し合うって大事。」「自然って不思議だなあ。」「もっと種のことを調べてみたいな。」と、講師の先生たちの興味深く軽快なお話の中から、子どもたちは多くのことを発見していました。

小学生高学年女子対象には、就実大学薬学部の先生方のご協力のもと、スライムづくりからみえる分子の世界や薬剤師の仕事などについて「子どもさんかくゼミ・未来のリケジョ応援プロジェクト」を開催しました。「そうか!わかった!!」という新たな気付きが子どもたちの心に残り続け、将来大きく花開くことを願います。



●3丁目ユースクリニック

昨年度開設した、10代20代の若者の心や身体の相談スペース「3丁目ユースクリニック」。新企画として、市内の大学(中国学園大学・中国短期大学・IPU環太平洋大学)の大学祭や大学の行事に合わせて、出張開設しました。リラックスした雰囲気の中で、多くの方々と、医師や大学の先生、カウンセラー等専門家とが、様々なお話や相談をすすぐす時間をもつことができました。



●岡山市男女共同参画大学「さんかくカレッジ」基礎コース・専門コース

「さんかくカレッジ」は、平成12年度より様々な変遷をたどりながらも、毎年度継続開催している、「さんかく岡山」の伝統的な主催事業です。男女共同参画について、広く基礎的な知識を学ぶ基礎コースと、分野を絞り深く学びさらなるレベルアップを図る専門コースがあります。今年度も次のように、様々な講座が実施されました。

◇さんかくカレッジ基礎コース

市内の公民館とコラボして「さんかくカレッジ基礎コース」を開催しています。今年度は4つの公民館で実施しました。どの講座も、生きていくうえで避けては通れない、大変興味深い内容で、「また実施してほしい。」と、受講者から好評でした。

灘崎公民館 元気ハツラツ!シニア生き方講座

岡南公民館 私も家族もみんなが主役の将来設計

瀬戸公民館 幸せな最期を迎えるために~逝き方・弔い方・終い方~

旭公民館 防災を多様な視点から考える~大切な家族を守るために知っておきたいこと~



◇さんかくカレッジ専門コース(前期講座・後期講座)

様々な時代の流れに沿って、年度ごとにタイムリーなテーマを設定し、男女共同参画についての知識理解を深めたり、望ましい社会のあり方について考えを広げたりしています。この講座で学んだことをまとめたパネルは、公民館等のパネル展などで活用されています。

令和5年度さんかくカレッジ専門コースのテーマは、「女性リーダーから学ぶ」でした。前期講座では、市役所管理職、企業社長、連合町内会長、大学教授などの女性リーダーを講師に招き、リーダーとして意思決定の場に身を置き、いかに力を発揮して活躍しているか、元気の出る、力強いお話を聴くことができました。後期講座では、女性が活躍できる社会の実現に向けて、バランスの取れた組織の在り方、それを阻む無意識の思い込みなどについて学びをまとめました。

これからも、多くの方に受講していただくことで、身近な家族や地域から、男女共同参画社会を推進してくださる人材育成をめざしていきます。

岡山市男女共同参画社会推進センター

さんかく岡山を利用しませんか

「さんかく岡山」は、年齢や性別を問わず、どなたでもご利用いただけます。岡山市の男女共同参画を推進するための活動拠点であり、様々な講座やイベントも開催しています。お気軽にお立ち寄りください。



会議室

(有料・要予約)
最大100人まで
ご利用いただけます。



ミーティングルーム

(無料・要予約)
3人以上のグループで3時間
まで利用できます。小規模な
会議などにぜひどうぞ。



展示ギャラリー

(無料・要予約)
市民のみなさんへ作品を発表
できる場を無料で提供してい
ます。



図書

1回5冊まで。
貸出期間は2週間です。



託児室 (有料・予約制)

生後6か月～就学前のお子
さんを3時間までお預かりし
ます。買い物などの際にもご利
用いただけます。

さんかくシアターって、ご存知ですか？

さんかくシアターは、「さんかく岡山」にて毎月開催している映画の上映会のことです。

映画を楽しみに、当館に足を運んでいただければ一人でも多くの市民の皆様、ジェンダーや男女共同参画について理解を深めるきっかけとなることを目的としています。



- 参加費：無料
- 申込方法：電話のみ
(086-803-3355) 各回 **先着 50名**
- 月に1作品のみ上映
(開催は2日間
各日午前午後1回ずつの計4回上映)
※開催時期・回数・申込方法については、
状況により変更する場合があります。

- 令和5年度主な上映作品
※()内は製作国
- ・「海の上のピアニスト」
(イタリア・アメリカ)
- ・「すばらしき世界」(日本)
- ・「ゴヤの名画と優しい泥棒」
(イギリス)
- ・「コーダ あいのうた」
(アメリカ・フランス・カナダ)

映画館と異なり会議室での
アットホームな上映環境になります。
ご容赦ください。

皆様のご来館
お待ちしております。

さんかくシアター

検索

住所 〒700-0822
岡山市北区表町三丁目14-1-201
(アークスクエア表町2階)
電話 086-803-3355 **FAX** 086-803-3344
電子メール sankaku@city.okayama.lg.jp
ホームページ

<https://www.city.okayama.jp/0000005879.html>

※ 講座・イベント等のさんかく岡山の施設情報は
こちらから



開館時間 月・水～土 / 9:30～20:00
日・祝 / 9:30～17:00

休館日 火曜日、年末年始(火曜日が祝日の場合は開館し、次の平日が休館となります。)

